

令和5年度 第3回 西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年11月16日（木）13時30分から15時30分
- 2 開催場所 西小学校 会議室
- 3 出席委員 土屋 雅利、加藤 正寿、山田 悟央、三上 昌子、岡野 みの
平出 慎一郎、種茂 実予子
- 4 欠席委員 中谷 忠司、鈴木 将孝、福田 達樹
- 5 オブザーバー 桐澤 祐貴（県居協働センター）
- 6 学 校 渡辺 浩司（校長）、長瀬 千晶（教頭）、古田 秀樹（CS担当職員）、加美 美紀（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 加美 美紀
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、加藤委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校評価のアンケート項目について
- (2) 今年度の「ふれあいデー」「ボランティアの活用」「講師の外部人材の活用」の取組みについての振り返り
- (3) 支援策の具体化
 - ① 給食ボランティアについて
 - ② 県居協働センターとの連携について

11 会議記録

- (1) 学校評価のアンケート項目について
教頭より、学校評価の主な目的と、アンケート項目についての説明があった。学校評価は、学校経営の評価のためにアンケートだけでなく、全国学力状況調査やいじめアンケートなどの調査も含めて今年度の評価としていくことを確認した。この結果をもとに職員で改善策を立て、次回の会議で報告するとの説明があった。
- (2) 今年度の「ふれあいデー」「ボランティアの活用」「講師の外部人材の活用」の取組みの振り返りについて
これらの取組みについて児童、保護者、教員にアンケートを取り、その結果について教頭より報告があった。委員からは、以下の発言があった。
 - ・ 「ふれあいデー」が「宿題なしデー」にならぬよう、ふれあいに対する評価が増えるとよいと思う。「ボランティアの活用」については、何らかのお手伝いをした人はもっといると思う。父親が関わる場面があると良いと感じた。（平出委員）
 - ・ ボランティアとしてお味噌づくりに関わったが、先生方の忙しさが大変よくわかった。また、世代を超えてボランティア同士が交流できて良かった。人数はもっと必要だが、ボランティアとして参加するその一歩がなかなか出せない方が多いと感じる。（岡野委員）

- ・ 「ふれあいデー」については、今後週1回から2回と増やす可能性はあるのだろうか。「ボランティア活動」は、一覧表にして地域の方に見ていただけると良いと思う。(三上委員)
- ・ 「ふれあいデー」は先生と生徒だけでなく、家族のふれあいも増えることを実感した。「ボランティア活動」の守秘義務については、募集のお手紙に注意事項として記載してはどうか。(種茂委員)
- ・ 「ふれあいデー」は、先生が日ごろなかなか話せない子と話すチャンスをつくるなど、対象をしぼって活用してはどうか。「ボランティア活動」については一覧表を作成し、どんどん公表してほしい。先生方の意見をもっと出してほしい。(山田委員)
- ・ 「ふれあいデー」は子供同士、家族間のふれあいにつながっている。「ボランティア活動」上の個人情報の取り扱いについては、気を付けた方がよいと思う。(加藤委員)
- ・ 「ボランティア活動」は、町内の高齢者にも声かけをしたい。「外部ボランティア」については、西小という学区上、様々な職業に携わった方が多いと思うので、いろいろな分野から講師をお呼びすることができると思う。(土屋委員)

(3) 支援策の具体化(給食ボランティア、県居協働センターとの連携について)

①給食ボランティア実施について

ねらい…学級の教員が、給食時に子供たちを見守ることができるようにする。

↓だれでも参加できるボランティアにするため

(案)…週1回(低学年からボランティアさんの人数が足りるところまで)クラスに一人ずつ「給食片付けボランティア」に入ってもらおう。

上記について委員より以下のような意見があった。

- ・ 初めてのことで試行錯誤すると思うが、ぜひトライしてほしい。先生方にとって、給食の時間が有意義な時間になってほしい。(山田委員)
- ・ 給食ボランティアは週1日でも継続することが大事だと思うが、ボランティアの覚悟も必要である。年配の方だと少し大変かもしれないと感じる。(岡野委員)

②県居協働センターとの連携について

オブザーバーの桐澤さんより、協働センターは中学校区に一つあるので、小学校間の交流もできる。やってみたいことを、どんどん提案してもらい、こちらも模索していきたいとの案内があった。

その他連絡事項

教頭から、次回会議は、令和6年2月8日(木)13時30分より会議室で開催
テーマは「学校評価についての報告と自己評価アンケートをもとに、来年度の目標を考える」との連絡があった。